

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセ キュリティ プロファイルの設定

この章では、Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティプロファイルのセットアップについて説明します。

- Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定について (1ページ)
- Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの検索 (2ページ)
- Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定 (3 ページ)
- Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定 (4ページ)
- Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイル クライアント アプリケーション (5 ページ)
- Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの削除 (6 ページ)
- Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルに関する詳細情報の入手先(6ページ)

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定について

Unified Communications Manager Administration では、単一のセキュリティプロファイルを複数の Mobile Communicator クライアントに割り当てることができるよう、セキュリティ関連の設定項目をグループ化しています。セキュリティ関連の設定には、デバイス セキュリティ モード、着信転送タイプ、X.509 のサブジェクト名などがあります。[Cisco Unified Communications Manager Administration] で Cisco Unified Mobility Advantage サーバ セキュリティ プロファイルを設定すると、このプロファイルがその Cisco Unified Communications Manager の設定済み Mobile Communicator クライアントすべてに自動で適用されます。

セキュリティプロファイルの設定ウィンドウに表示されるのは、Cisco Unified Mobility Advantage サーバでサポートされるセキュリティ機能だけです。



(注)

Cisco Unified Mobility Advantage サーバを Unified Communications Manager Assistant Administration で設定することはできません。Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティプロファイルの設定については、ご使用の Cisco Unified Mobility Advantage のマニュアルを参照してください。Unified Communications Manager で設定する Cisco Unified Mobility Advantage のセキュリティプロファイルが、Cisco Unified Mobility Advantage サーバ上のセキュリティプロファイルと必ず一致するようにしてください。Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティプロファイルの設定については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの検索

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルを検索するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ1 [Unified Communications Manager Administration] で、[System] > [Security Profile] > [CUMA Server Security Profile] を選択します。

[Find and List CUMA Server Security Profile] ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、アクティブな(以前の)照会のレコードも表示されることがあります。

ステップ2 データベース内のレコードをすべて表示するには、ダイアログボックスを空欄のままにして、 ステップ3 (2ページ) に進みます。

レコードをフィルタまたは検索するには、次の手順を実行します。

- a) 最初のドロップダウン リスト ボックスで、検索パラメータを選択します。
- b) 2番目のドロップダウンリストボックスで、検索パターンを選択します。
- c) 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。
 - (注) 検索条件をさらに追加するには、[+] ボタンをクリックします。 条件を追加すると、指定した条件をすべて満たしているレコードが検索されます。 条件を削除する場合、最後に追加した条件を削除するには、[-]ボタンをクリックします。 追加した検索条件をすべて削除するには、[Clear Filter] ボタンをクリックします。
- ステップ3 [検索(Find)]をクリックします。

条件を満たしているレコードがすべて表示されます。1ページあたりの項目の表示件数を変更するには、[Rows per Page] ドロップダウンリストボックスで別の値を選択します。

- ステップ4表示されるレコードのリストから、表示するレコードへのリンクをクリックします。
 - (注) ソート順を逆にするには、リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

ウィンドウに選択した項目が表示されます。

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定

セキュリティプロファイルを追加、更新、またはコピーするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [Unified Communications Manager Administration] で、[System] > [Security Profile] > [CUMA Server Security Profile] を選択します。
- ステップ2 次のいずれかの作業を実行します。
 - a) 新しいプロファイルを追加するには、[Find] ウィンドウで [Add New] をクリックし、Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定 (1ページ) に進みます。
 - b) 既存のセキュリティプロファイルをコピーするには、適切なプロファイルを見つけて、コピーするセキュリティプロファイルの横に表示されている [Copy] ボタンをクリックしてから、Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティプロファイルの設定 (1ページ) に進みます。
 - c) 既存のプロファイルを更新するには、適切なセキュリティ プロファイルを検索し、Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定 (1ページ) に進みます。

[Add New] をクリックすると、各フィールドにデフォルト設定が入力された設定ウィンドウが表示されます。[Copy] をクリックすると、コピーした設定が入力された設定ウィンドウが表示されます。

- ステップ**3** XXX の説明に従って、適切な設定を入力します。 表 1: セキュリティ プロファイル設定 (4 ページ)
- ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定について、次の表で説明します。

表 1: セキュリティ プロファイル設定

設定	説明
Name	セキュリティプロファイルの名前を入力します。
	ヒント セキュリティ プロファイル名にデバイス モデルを含める と、プロファイルの検索または更新時に正しいプロファイルを検索できます。
Description	セキュリティプロファイルの説明を入力します。説明には、任意の言語で最大50文字を指定できますが、二重引用符(")、パーセント記号(%)、アンパサンド(&)、バックスラッシュ(\)、山カッコ(<))は使用できません。
[Device Security Mode]	ドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかのオプションを 選択します。
	• [Non Secure]: Cisco Unified Mobility Advantage サーバには、イメージ認証以外のセキュリティ機能はありません。Unified Communications Manager への TCP 接続が開かれます。
	• [Authenticated]: Unified Communications Manager によって Cisco Unified Mobility Advantage サーバの整合性と認証が提供されます。 NULL/SHA を使用する TLS 接続がシグナリングに対して開きます。
	• [Encrypted]: Unified Communications Manager によって Cisco Unified Mobility Advantage サーバの整合性、認証、および暗号化が提供されます。シグナリング用に AES128/SHA を使用する TLS 接続が開き、SRTP によってすべてのモバイルコールのメディアが伝送されます。

設定	説明
Transport Type	[Device Security Mode] が [Non Secure] の場合、ドロップダウンリストボックスから次のオプションを選択します。
	• [TCP]: Transmission Control Protocol を選択し、パケットが送信時 と同じ順序で受信されるようにします。このプロトコルを使用す ると、パケットはドロップされませんが、プロトコルはセキュリ ティを提供しません。
	[Device Security Mode] が [Authenticated] または [Encrypted] の場合、転送タイプはTLSになります。TLSによって、シグナリングの整合性、デバイス認証、およびシグナリング暗号化(暗号化モードのみ)が実現されます。
安全な証明書の件名ま たはサブジェクトの別 名	([Device Security Mode] が [Authenticated] または [Encrypted] の場合は 必須)。このフィールドは、転送タイプに TLS を設定した場合に適 用されます。
	Secure Certificate Subject または Subject Alternate Name は暗号化における公開キーインフラストラクチャについての国際電気通信連合電気通信標準化部門の標準規格です。サブジェクト名はソース接続のTLS証明書に対応します。
	X.509 のサブジェクト名が複数存在する場合、スペース、カンマ、セミコロン、コロンのいずれかを入力して名前を区切ります。
	このフィールドには、最大 4096 文字を入力できます。

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイル クライアント アプリケーション

Mobile Communicator クライアントのデバイス設定ウィンドウに 「[Device Security Profile]」フィールドが存在しない場合、クライアントに Cisco Unified Mobility Advantage サーバ セキュリティ プロファイルを手動で適用する必要はありません。

[Unified Communications Manager Administration] で Cisco Unified Mobility Advantage サーバ セキュリティプロファイルを設定すると、このプロファイルがその Unified Communications Manager の設定済み Mobile Communicator クライアントすべてに自動で適用されます。

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの削除

この項では、Unified Communications Manager データベースから Cisco Unified Mobility Advantage サーバ セキュリティ プロファイルを削除する方法について説明します。

手順

ステップ1 削除するセキュリティプロファイルを探します。

ステップ2 セキュリティプロファイルを削除するには、次の作業を実行します。

- a) [Find and List] ウィンドウで、該当するセキュリティプロファイルの横にあるチェックボックスをオンにし、[Delete Selected] をクリックします。
- ステップ3 削除操作を確認するプロンプトが表示されたら、[OK]をクリックして削除するか、[Cancel]をクリックして削除の操作をキャンセルします。

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルに関する詳細情報の入手先